

ディスクン通信・彩の国

埼玉県ディスクン協会 会報
第5号

2024年（令和6年）1月発行

はじめに

埼玉県ディスクン協会 会長 山田 武

この会報は当協会の設立10周年を機に、2018年1月に創刊号を発行しました。その後、6か月ごとに発行してまいりましたが、2020年1月に第4号を発行して以降、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、ディスクン大会等の行事や地域の体験会等の活動も停止や制約を余儀なくされたため、会報発行を停止しておりました。

今年度（2023年4月）からは、コロナの制約緩和により各種行事が元に戻ってまいりました。更に、当協会にとっては「全国ディスクン交流大会」を所沢市で開催するという一大イベントを昨年6月に挙行的たこともあり、これを機に会報第5号を復活発行することにいたしました。

第5号の発行に当りましては、全日本ディスクン交流協議会の平野会長にも執筆を依頼し、全国大会、県大会の他、各種行事に参加された方々にもご投稿をお願いしました。皆様のご協力のお陰を持ちまして、4年振りの会報発行を実現することが出来たことを厚く御礼申し上げます。

なお、編集に当りましては、大きな行事ごとに関連する原稿をまとめさせていただきましたので、「支部便り」の掲載が後の方になってしまいましたがお了承くださいますようお願い申し上げます。

埼玉県ディスクン協会の会報に寄せて

全日本ディスクン交流協議会 会長 平野 十九蔵

埼玉県ディスクン協会の会報第5号発行にあたり、一言メッセージを述べさせていただきます。



令和5年6月4日（日）第9回全国ディスクン交流大会 IN 埼玉が、山田武埼玉県ディスクン協会会長はじめ、役員の皆様が周到な準備をして頂き、所沢市民体育館にて開催されました。当日は藤本所沢市長から来賓挨拶を頂き、協賛の日本ディスクン協会（3チーム）を含め56チームが参加し、元気な声が館内に響き渡りました。

顧みますと、ディスクン競技は25年前に（一社）日本ディスクン協会の桧山武雄会長が開発さ

【第5号】全国大会特集

れて以降、私ども滋賀県のディスコン愛好者は、全国ディスコン連盟（大阪）の傘下で活動していましたが、同連盟が桧山会長の方針と相容れず、カーリンコンに方向転換されました。やむなく、大阪のディスコン愛好有志と奈良、滋賀が中心となって、平成26年（2014年）新たに、全日本ディスコン交流協議会をスタートさせて以来、早10年になります。その交流協議会の設立総会開催に先立ち、2014年2月15日に、第1回全国ディスコン交流大会IN滋賀を草津市立旧体育館で開催した時のことが、強く印象に残っています。

その大会に埼玉県ディスコン協会から4チーム参加して頂きました。折悪しく前日からの大雪で、町田横瀬支部長達2チームが乗った高速バスが、東名高速で立ち往生し、2～3日バス泊の憂き目に遭われ、大会に参加できませんでした。他の2チームは新幹線で前日、彦根城観光をされ、草津での懇親会にも合流し、無事大会に参加して頂きました。

あれから10年、2年前にはコロナ禍での大会中止の年もありましたが、今回埼玉県で全国大会を開催できましたことをとても感慨深く感じております。

高齢化が進み定年退職年齢が70才前後になり、新規にディスコンを楽しんで貰える仲間を迎えるには環境が厳しくなっておりますが、元気に日常生活を営む上で、ディスコンでリフレッシュできるのが素晴らしいと感じております。

埼玉県ディスコン協会の仲間の皆さんと共に、今後もディスコンを楽しみたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

第9回全国ディスコン交流大会 in 埼玉の結果報告

実行委員長（埼玉県会長） 山田 武

開催日時：令和5年6月4日（日）9：30～16：30

開催場所：埼玉県所沢市民体育館 メインアリーナ

主催：全日本ディスコン交流協議会 主管：埼玉県ディスコン協会

協賛：一般社団法人 日本ディスコン協会 後援：埼玉県レクリエーション協会 所沢市

協力：埼玉県立所沢中央高校（書道部：横断幕作成、ダンス部：アトラクション）

参加チーム：合計56チーム

全日本ディスコン交流協議会：53チーム

（奈良3、滋賀3、京都1、富山等3県合同1、※埼玉45） ※埼玉には中学生チームが2チーム含まれており、中学生チームの参加は全国大会史上初めてのこと。

日本ディスコン協会：3チーム（岡山、静岡、栃木等の混成）

参加人数：競技者164名、スタッフ19名、合計183名

（来賓、観客、中央高校ダンス部を除く）

開会式（10：00～10：40）府県別、市町村別に整列

平野大会会長の挨拶、藤本所沢市長と岡田埼玉県議会副議長の来賓挨拶、山田実行委員長から大会運営方法等の説明、前年度優勝の滋賀県チームから優勝カップ返還、埼玉県横瀬Aチーム村

【第5号】全国大会特集

上選手による選手宣誓、集合写真撮影【下】、準備体操



主な大会実施要項

- 組合せ及び試合方法 予め大会本部が設定した組合せに従い、各チーム6試合を行う。7点先取15分制（インターバル5分）の団体戦
- コートについて コートサイズ5m×10mで14コートを使用する。
1コートに4チームを配置し、4試合（1チーム2試合）毎にコートを移動する。（1チーム当り3コートを使用する）
得点表はエンドライン外側のホワイトボードに掲示する。
- チーム編成と審判 1チーム3人編成とし、2人編成は不可（必要に応じて本部から補充）。4人編成でキャプテン以外の試合単位での交代出場は可。選手はチーム名札を着用し、本大会中、投盤順の変更は不可。審判（主審・副審・得点係）は組合せ表に基づき相互に担当する。主審（キャプテン）は当協会認定のインストラクターのみとし、不在の場合は本部スタッフが代行する。
- 順位決定方法 勝点方式（勝ち3点、引分け1点、負け0点）で順位を決める。勝点と同じ場合は得点の多い順、得点も同じ場合は失点の少ない順、失点まで同じ場合はキャプテンのジャンケンで順位を決める。
- コロナ対応について マスクと手袋着用は個人の判断に任せるが、コートチェンジの際に、ディスク用具を除菌シートで消毒する。
- 第1～第4試合（10：45～12：00）
- 昼食休憩（12：00～13：00） 参加者は2階観客席で昼食。
1階フロアでは中央高校ダンス部10名によるチアダンス【写真は下】



第5～第8試合（13：00～14：15）

コート移動（14：15～14：30）

第9～第12試合（14：30～15：45）

コート撤去、用具類片付け（15：45～16：00）参加者のご協力に感謝！

閉会式（16：00～16：30）開会式と同様に整列

表彰式：町田審判部長から成績発表。6戦全勝のチームが6チーム、総得点も僅差の争いであった。

優勝 滋賀・彦根チーム（勝点18点、得点47点）

準優勝 埼玉・川口Fチーム（勝点18点、得点46点）

第3位 埼玉・上尾2チーム（勝点18点、得点44点）

賞品授与：上位3チームの他に10・20・30・40・50位の飛び賞とブービー賞、全員に参加賞が渡された。

第9回全国ディスクン交流大会 in 埼玉で 準優勝 !!

川口支部（元郷地区） 西川恵子・小野家 ソメ

令和5年6月4日(日)開催会場は所沢市民体育館メインアリーナでした。

台風の影響により前日の夜まで交通機関は乱れ、関西方面からの方々は無事に参加出来るのだろうか？と心配をしていましたが、大会当日は天候に恵まれとても暑い一日でした。

大会当日までの準備作業等、本部役員、実行委員会の皆様に感謝申し上げます。

私達は川口Fチームです（佐久間 清、西川 恵子、小野家 ソメ）。3人の合計年齢は240+αの超高齢チームです。令和元年9月15日(日)コロナ感染拡大自粛前の仙台での全国大会では今回と同じメンバーで参加し、結果は3位入賞でした。

久々の全国大会でしたから ” 今度こそは ” とワクワクした気持ちで参加しました。

会場の広さは圧巻で14面あるコートの場所、対戦時間、対戦相手チームの確認等のためコートの移動にも苦労して居る様子のチームも有りました。又 会場の雰囲気も常に緊張状態でした。【写真は受賞後大会会長と】

川口支部チームは伊藤支部長がコート番号、対戦チーム名、競技・審判・休憩別の早見表を作成し、全員に配布して頂きましたので、会場内をスムーズに移動でき、お陰様でゲームに集中する事が出来ました。試合結果は6戦全勝で、総得点は1点差で滋賀県・彦根チームに優勝を譲ったものの、準優勝という良い結果となりました。

本音を言えば優勝を目指していましたが、勝負は時の運です。常に楽しんでゲームをする事を心掛けています。私達のチームの合言葉は『力を抜いてディスクを投げる前に深呼吸』です。兎にも角にも一日無事に楽しく過ごせた事が良かったと思います。

家族も応援に来てくれたので、更に力が発揮出来たのでは？と感じました。

参加者の皆様、対戦チームの皆様、楽しい交流をありがとうございました。今後も体力の続く限り楽しんで頑張りたいと思います。



第16回埼玉県ディスコン大会結果報告

従来の県大会は午前中から始めて各チーム6試合行ってきたが、今回は午後開始で4試合に変更した。本大会は、第36回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、上位3チームに対し埼玉県知事の表彰状が県から交付された。

さいたま市の障がい者学級の生徒と職員のチームが5チーム参加した。

開催日時：令和5年10月27日（日）13：00～16：30

開催場所：上尾スポーツ総合センターアリーナ

参加チーム：21チーム（1チーム3名編成）（当協会会員以外6チーム）

さいたま市7チーム（内、ゆたかカレッジ5チーム）、川口市3チーム、上尾市3チーム、横瀬町4チーム、川越市2チーム、所沢市2チーム、

参加人数：競技者63名、スタッフ12名、引率者1名 合計76名

参加費：一人500円

開会式：前回優勝のさいたまチームから優勝カップ返還、同チームの鷹巣選手が選手宣誓。

競技方法：予め本部が作成した組合せ、コート割りに従い、全チーム合計4試合を実施。

1コートに3チームが入って、各チーム2試合と審判を行い、コートを移動して後半戦の2試合を行った。

1試合13分間の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち3点、引分けは1点、負けは0点とし、4試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定した。

今回は主審を担当するインストラクター不在のチームが6チーム参加したため、各コートに本部スタッフを1名ずつ貼り付けた。

上位入賞：優勝 上尾2チーム（4戦全勝、得点25点）

準優勝 横瀬Aチーム（4戦全勝、得点24点）

第3位 上尾1チーム（3勝1引き分け、得点19点）

賞品授与：上位3チームの他に5位、7位、10位、15位の飛び賞とブービー賞が授与された。



（山田記）

県大会で上尾支部が大活躍

上尾支部 興石 和夫

新年あけましておめでとうございます。皆様方にとりましては健やかな新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

先ず初めに私達クラブの紹介をさせて頂きたいと思います。クラブの名称は「オールフレンドディスクンクラブ」と言います。上尾市の平方チームと桶川市の川田谷チームで構成されています。練習会場は平方公民館と川田谷小学校体育館でそれぞれ行っています。人数は平方チームが5名、川田谷チームが12名です。平方チームは毎月第1日曜日に定例会を行っていますが、男性ばかりなので川田谷から女性4名が協力参加しています。また、昨年秋にはコロナ対策を万全にした上で「芋煮会」を開催するなど双方の交流を図っています。こんな感じで支部開設後5年が過ぎました。

毎年埼玉県ディスクン大会には3チーム（上尾1、上尾2、上尾3）出場しています。そして昨年6月に所沢市民体育館で開催された第9回全国ディスクン交流大会では、上尾チームが3位入賞を果たしました。また、昨年10月に上尾スポーツ総合センターで開催された第16回埼玉県ディスクン大会では上尾2チームが優勝、上尾1チームが3位、上尾3チームが7位（ラッキーセブン賞）と全チームが入賞するという快挙を成し遂げた最高の1年でした。この県大会には、障がいのある学生たちも参加しゲームを行いました。彼らの楽しそうな表情を見てみると、爺々婆々との交流がとても良かったと感じました。（まだ爺々婆々ではない方にはゴメンナサイ）

でもその一方で、大変悲しい出来事もありました。上尾支部を立ち上げた支部長の渋谷精康さんが7月7日に72歳で亡くなりました。またその少し前に、渋谷さんと一緒に支部設立に協力して頂いた千葉月枝さんも亡くなるという二重のお悔やみ事が起きてしまいました。お二人には県大会で上尾の全チームが立派な成績を残したことを報告できたのがせめてもの救いとなりました。

私達は、健康・親睦を第一の目的でディスクンを行っていますので、常に和気あいあいと楽しく笑顔の絶えないチームです。ディスクン愛好者の皆様方には、これからも仲良く変わらぬお付き合いをして頂きたく、本年もどうぞよろしくお願いたします。

【下の写真は編者が挿入。県大会優勝チームで筆者は左側】



「埼玉県レクリエーション大会 in 熊谷」結果報告

事務局長 松本 元伸

令和5年10月22日（日）午前中（10時～11時25分）くまがやドーム体育館にて、総合開会式が行なわれた。当協会からは坂戸市の中島さんが参加した。主な式次第は、オープニングアトラクション（フラダンス、和太鼓、リズム体操）、国歌・県歌斉唱、関係者挨拶、県レク功労者・優良団体表彰、県レク協会旗引き継ぎ（熊谷市→さいたま市）等。

午後から（13時～16時）種目別交歓会・講習会が行なわれ、ディスコンはくまがやドーム多目的運動場の中2階（人工芝＝滑りが悪い）にて実施した。当協会の参加者は本部（山田会長、佐野さん、松本）の3名、横瀬（町田支部長、島田さん、橋本さん、本橋さん、村上さん）の5名、坂戸（中島さん）以上9名が参加した。参加者集合後直ちに会場設営（長机、椅子、コート設置）に取り掛かり、5m×10mコート1面を設置。その後、全員で昼食（注文済みお弁当）を摂り種目別交歓会・講習会に臨んだ。

会場を回遊する一般参加者・他種目の大会参加者・大会役員等に対して積極的に声掛け・勧誘した結果、約70名の参加者を得た。参加者を1チーム3名に編成し、1ゲーム3イニング交代方式でディスコンゲームを体験してもらった。一般参加者には子ども連れが多く、他種目の参加者には時間を空けて何回も参加してくれるグループもいた。フローリングの床面ならもっと面白いのでは？といった感想もあったが、概ね好評であった。



尚、来年度（令和6年度・2024年度）の開催市はさいたま市で、市レク協・県レク協の共催にて10月27日の最終日曜日に開催が決定している。当協会として事前打ち合わせ等は、金森支部長（さいたま市レク協理事）に一任の体制で臨む。

埼玉県北部地域への普及・振興活動に取り組んでいる町田支部長は、中島さん（県レク協各役員と親密で、レク協行事には積極的に参加している）から熊谷市レク協役員の紹介を受け、市社会教育課担当者から市内各公民館へ連携・連絡する旨の了承を得る等、今後熊谷市を中心とした県北へのディスコン普及の進捗が期待される。



【終了後の記念写真、筆者が一番右】

第32回ディスコン・インストラクター認定研修会に参加して①

所沢支部 新井田 弘

私が初めて「ディスコン」に接したのは、NPO法人ときめきライフ埼玉での体験教室でした。競技内容、試合ルール等全くわからないままでの参加でしたが、緊張感の中全てが新鮮であり、下手なりにチーム同士楽しく声を掛け合い、老若男女問わず誰にでもでき、特に高齢者の運動として、またサークル活動（地域活動）にはピッタリのスポーツだと思いました。

その後偶然にも所沢ディスコン大会、第9回全国ディスコン交流大会に参加する機会があり、審判や大会のスタッフとして活動ができたらと思い、競技内容、試合ルール等々勉強するようになり、今年開催のディスコン・インストラクター認定研修会に参加を申し込み致しました。

第32回ディスコン・インストラクター認定研修は11月12日（日）所沢市こどもと福祉の未来館にて所沢支部3名の他6名合計9名の参加で実施されました。当日は山田会長のご挨拶から始まり、ルール等の解説、投法と戦術、競技と審判実技演習については模擬試合を行い、9名全員が主審、副審、得点係を経験し、更には健康増進と指導者の心得、マネジメント能力活用等々、丸1日の講習でしたが、素晴らしい講師の方々から非常に内容の濃い講義を受けることができました。

その後、おそらく参加者全員が一番心配されていた審査試験（25問、1問4点）が実施され、その結果、9名全員に無事「認定証」が授与されました。

今後は自身の更なる技術向上を図り、上級指導者を目指すと共に、仲間と地域の輪を広げ「ディスコン」競技愛好者の増加、普及に努めて参る所存です。

【第32回インストラクター認定研修会参加者写真】



後列（スタッフ）：山田、磯、佐野、松本

前列（受講者）：①新井田、高須賀、越河、石野、大野、③池田、②新井、須賀、坂口

丸数字は本会報の投稿者です

第32回ディスコン・インストラクター認定研修会に参加して②

川越市（所沢支部） 新井武美

私とディスコンとの出会いは、以前公民館に勤務していた際、ディスコン教室を開催し、その魅力に目覚めたためです。

この競技は簡単なルールを覚えるだけで、初心者でもすぐに楽しめる魅力をもっています。多くの人にこのすばらしさ、楽しさを体験してもらいたいと思い、川越ディスコン会を創設いたしました。

公民館を会場に活動し、6年間活動を継続している事から、定年退職後の余暇の充実と仲間作りの為、川越ディスコン会に入会し、埼玉県ディスコン協会主催の研修に参加しました。

今後、ディスコンを続ける事により健康的で有意義な暮らしを充実させるとともに、ディスコンの楽しさを一人でも多くの方に体験して頂くための普及のお手伝いが出来ればと思っています。

第32回ディスコン・インストラクター認定研修会に参加して③

蕨市旭町公民館（さいたま支部） 池田 朗子

公民館の高齢者学級を通じてディスコンという競技を知り、競技経験は少ないのですが、生涯学習スポーツとして長くできる競技と思い、今回のインストラクター研修会を受講しました。

ディスコンの歴史、ルール、実技、審判、と盛りだくさんの内容でとても勉強になりました。そして、奥が深い競技と感じました。チームで考え、またフォローしながら競技するスタイルがとても良かったです。

また「老若男女を問わずできるなっ」と感じました。今後は自分自身も競技に参加しながら、また知らない人にも伝えていけたら良いと考えています。

【第5号】支部便り

ディスコンと共に・・・

さいたま支部 長澤 眞江

埼玉県ディスコン協会会員の皆様 こんにちは。私はディスコンさいたまの長澤と申します。私がディスコンと初めて出会ったのは、平成21年シニア大学に入学して、クラブ活動の募集があり、金森さんがディスクを見せながら、説明してくれたのが最初でした。それから練習を何回かしてインストラクター認定研修を受け、やっているうちにだんだん楽しくなりはまってしまいました。東浦和校9期校友会として絆ディスコンクラブは現在も活動しており、毎年絆ディスコン大会を開催し



ております。

昨年は校友会の12月の講座で「楽しくふれあうディスコン体験」を開催し、参加者38名、サンタクロースのサプライズもあり大いに盛り上がり、楽しんでいただきました。【前ページの写真参照】

また心に残ることは、一昨年の「第15回埼玉県ディスコン大会」で「さいたまSチーム」が優勝したことです。私にとって県大会優勝は人生初体験で、感動と喜びを味わったことが忘れられません。

仲間の人達と一緒にできるディスコンは私の楽しみの一つであり、いつまでも健康で元気でいられる様願っております。

地域で元気にフレイル予防と仲間づくりを！

仲町たたら荘 職員一同(川口支部会員)

代表者氏名 ; 大木 満由美

当施設「川口市仲町たたら荘」は、川口市老人福祉センターの活動事業です。コミュニティ、憩いの場として高齢者の方々を受け入れている施設です。

昨今では、「フレイル予防」も取り入れ、様々な活動を取り入れるようにしています。

以前、他の活動で知った楽しく・無理なく・運動と脳トレ思考が出来る「ニュースポーツ・ディスコン」をプログラムに取り入れる事になりました。当初は埼玉県ディスコン協会川口支部会員による訪問指導を受けながらの事業展開でしたが、協会川口支部の方から事業として活かす為には“インストラクターを取得した方が良いのでは？”とのアドバイスに、不安を抱きながらも挑戦し、スタッフ全員(4名)が施設長の応援を頂き、勤務調整をしながら2019年7月と12月に何とかインストラクター認定証を取得する事が出来ました。資格取得をした事が自信となり、現在は利用者の方々へ安心して対応・指導が出来ていると感じています。

初めて体験する「ディスコン」という競技に興味を持って下さった利用者の方々に、使い方、方法、ルール、ディスクの投げ方、得点の記入方法等を繰り返し説明しながらも、現在は月に2回程度のペースで楽しんでいます。(会場の広さは4m×8m 1面のみ)

この「ディスコン」を取り入れてから約5年程になります。慣れ親しんで来た方々は、それぞれ独自の方法や投げ方で毎回楽しく参加されている様子を垣間見るにつけ、天候に左右されず奥深いこの室内競技ゲームを取り入れて良かったと思います。ディスコンは戦略を考えたり、勝ち・負けがあるので脳トレにも効果的です。

年に一度、ささやかなプレゼントを用意しての「ディスコン大会」を開催し、皆がお互いを讃え合い笑顔で一喜一憂しています。楽しみにして下さっている方が大勢いらっしゃいますので、これからもコミュニティの健康増進、フレイル予防を兼ねて数多く取り入れていきたいと考えております。



【仲町たたら荘外観】



【ゲームでの仲間づくり風景】



横瀬支部の新春大会

横瀬支部長 町田 昇

横瀬支部では2011年の支部創設以来、毎年1月のはじめに新春ディスコン大会を行っており、今年令和6年1月5日に芦ヶ久保活性化センターで開催しました。毎年全員参加で行うことになっておりますが、例年2～3人欠席があり、今年も3人の欠席者があったものの盛大に行うことが出来ました。参加費は無料ですが、賞品は優勝から最下位のチーム迄全員に行き渡るようにしています。大会終了後、コロナ前までは別会場で新年会も行ったりしておりました（新年会は別途費用負担あり）。昨年はまだコロナの影響もあり、お弁当を渡し解散しておりましたが、今年は昼食代も無料で、一緒にディスコン会場でお弁当を頂きました。来年以降は別会場での新年会を行いたいと思っています。

横瀬支部では、毎月の定例会・練習会を芦ヶ久保活性化センターにて行っておりますが、会場利用代が無料のうえ、冬はストーブ、夏は扇風機を使うことができます。ディスコン用具一式は会場に預けてあり、5コート×10コートのコートラインも常設してあり、いつでも手ぶらで行ってゲームができるので大変助かっています。ただし、この会場は1コートしか作れません。毎回7チームから8チームで対戦しますので、待機時間が長いのが難点です。なお、組合せはくじ引きでチーム編成します。

支部創設当時は、廃校となった小学校の体育館も利用していました。体育館にはエアコンやストーブもついていないので、夏は暑くて、冬は寒く、高齢者にとっては体が持たないと考え、今は廃校の体育館は利用していません。冬場、活性化センターに来るときは厚着で来た人も、試合が始まると暑くて薄着になり、水分もよく取り、大きな笑い声も出て楽しくやっています。

今年度の新春大会は下の写真のように、賞品をもらう前（左）と頂いた後（右）の顔が違います。

各支部の皆様、横瀬支部にも遊びに来てみませんか？会場の芦ヶ久保活性化センターは西武秩父線芦ヶ久保駅から徒歩3分です。



第9回所沢ディスコン大会の開催～新しい仲間と交流・楽しみました！～

所沢支部長 磯 竹栄

昨年の5月新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「第5類」に変更され、身近な感染対策が緩和されました。当会では、こどもと福祉の未来館、狭山ヶ丘コミュニティセンター、並木公民館等の会場で定例会が普段の体験教室として、開催されるようになりました。こうした状況下において、下記の通り第9回所沢ディスコン大会が盛大に開催されました。その模様を報告いたします。

【第5号】支部便り

*日時：2023年9月26日（火）13：00～17：00

*会場：所沢市こどもと福祉の未来館・体育館

*主催：所沢市ディスコン協会 後援：埼玉県ディスコン協会、NPO法人ときめきライフ埼玉

*参加チーム：16チーム（48名）、スタッフ：10名、合計：58名

所沢市外から、さいたま市、坂戸市、上尾市、川越市、東京都練馬区等の愛好者が参加しました。

*競技内容：3人1チーム、1コートに4チームが入り、総当たりのリーグ戦、1チーム3試合を行いました。各コートでは、対戦チーム同士が激しく順位を競い合いました。

*競技では、上位チームの力量に差がなく、激戦が続き得点差により、順位が決定されました。また好プレーに拍手、珍プレーに笑いが飛び交う中、楽しく、新しい交流ができました。

*成績は次の通りです。（勝点は勝ち・3点、引き分け・1点、負け・0点）

	チーム名	勝点	得点	失点
優勝	川越ディスコン会 A	9	24	8
準優勝	さいたま A	9	19	2
3位	さいたま C	9	15	5



【開会式風景】



【優勝チーム】



【終了後の集合写真】

予 告！

*第10回所沢ディスコン大会

- ・日時：2024年3月28日（木） 13：00～17：30
- ・会場：所沢市こどもと福祉の未来館・体育館
- ・参加申込：事前申込制、 チーム編成：3名／1チーム、 参加費：200円／1名
- ・申込・お問い合わせ：04-2924-7088（磯 竹栄）

編集後記

県協会監事 芦田 政芳

コロナ禍で停滞した活動が3年振りに戻ってきました。会員の喜びの声が聞こえるようです。

当協会が初めて主催した第9回全国ディスコン交流大会は好評でした。中学生2チームの参加がありました。また休憩タイムに踊った高校生のチアダンスも大会を盛り上げてくれました。

11月の県大会では、障がい者学級の生徒と職員で5チームの参加があり、ディスコンが広く親しまれている事を実感しました。

各支部の活動も通常に戻り、中でも結成5年の上尾支部の活躍が際立っています。これからも仲間を増やす普及活動に努めていきましょう!!

発行責任者：埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武

URL: <http://www.saitama-discon.jp/>